

請求の範囲

- [請求項1] 果物の食べ頃としての適正期間を算出する食べ頃算出方法であって、
- 、
- 前記果物の属性に対応付けて用意された食べ頃算出アルゴリズムによって前記適正期間を算出し、
- 前記適正期間を評価するための評価情報を取得し、
- 前記評価情報が特定条件を満たす場合に前記食べ頃算出アルゴリズムを修正し、
- 前記修正された食べ頃算出アルゴリズムを用いて新たな適正期間を算出する、
- 食べ頃算出方法。
- [請求項2] 請求項1に記載の食べ頃算出方法であって、
- 前記評価情報は、前記適正期間が算出された前記果物の数に対する、前記算出された適正期間と前記果物の実際の適正期間とが重複しない果物の数の割合であり、
- 前記評価情報が前記特定条件を満たす場合に、前記食べ頃算出アルゴリズムを修正する、
- 食べ頃算出方法。
- [請求項3] 請求項1又は2に記載の食べ頃算出方法であって、
- 前記食べ頃算出アルゴリズムは、
- 前記果物の硬さを表す値と、前記硬さを測定した測定日からの経過日数との相関関係で表される、
- 食べ頃算出方法。
- [請求項4] 請求項3に記載の食べ頃算出方法であって、
- 前記食べ頃算出アルゴリズムは、
- 前記果物の硬さを表す値と、前記硬さを測定した測定日からの経過日数との一次関数であって負の傾きを有し、
- 前記適正期間は、

前記硬さを表す値の特定範囲に対応する前記経過日数の最大値から最小値を引いて表される期間に基づいて定められる、
食べ頃算出方法。

[請求項5]

請求項4に記載の食べ頃算出方法であって、

前記適正期間を算出した前記果物の数に対する前記適正期間と前記果物の実際の適正期間とが重複しない前記果物の数の割合が前記特定条件を満たした場合であって、前記適正期間が前記果物の実際の適正期間よりも早い場合に、前記傾きの絶対値を相対的に小さく設定し、

前記適正期間を算出した果物の数に対する前記適正期間と前記果物の実際の前記適正期間とが重複しない前記果物の数の割合が前記特定条件を満たした場合であって、前記適正期間が前記果物の実際の適正期間よりも遅い場合に、前記傾きの絶対値を相対的に大きく設定する、

食べ頃算出方法。

[請求項6]

請求項1又は2に記載の食べ頃算出方法であって、

前記食べ頃算出アルゴリズムは、

前記果物の硬さを表す値と、前記硬さを測定した測定日から前記果物の曝された環境温度の積算値との相関関係で表され、

前記適正期間は、

前記硬さを表す値の特定範囲に対応する前記積算値の範囲を、前記果物の曝された環境温度で割り算して得られる、

食べ頃算出方法。

[請求項7]

請求項6に記載の食べ頃算出方法であって、

前記適正期間を算出した前記果物の数に対する前記適正期間と前記果物の実際の適正期間とが重複しない前記果物の数の割合が前記特定条件を満たした場合、

前記積算値を割り算する際の前記環境温度を変更する、
食べ頃算出方法。

- [請求項8] 請求項6に記載の食べ頃算出方法であって、
前記適正期間を算出した前記果物の数に対する前記適正期間と前記果物の実際の適正期間とが重複しない前記果物の数の割合が前記特定条件を満たした場合、
前記硬さを表す値の特定範囲に対応する前記積算値の範囲を前記果物の曝された環境温度で割り算して得られた適正期間に所定値を加算又は減算する、
食べ頃算出方法。
- [請求項9] 請求項1から8のいずれか1項に記載の食べ頃算出方法であって、
所定の属性が取得されたとき、前記用意された食べ頃算出アルゴリズムから、前記取得された属性に類似する属性に対応付けされた食べ頃算出アルゴリズムを抽出し、
前記抽出された食べ頃算出アルゴリズムを適用して前記適正期間を算出する、
食べ頃算出方法。
- [請求項10] 請求項9に記載の食べ頃算出方法であって、
前記属性には、前記果物の種類、前記果物の品種及び前記果物の生産条件のうち少なくとも1つが含まれる、
食べ頃算出方法。
- [請求項11] 請求項1から10のいずれか1項に記載の食べ頃算出方法であって、
、
前記用意された食べ頃算出アルゴリズムには、実証実験に基づいて導出された食べ頃算出アルゴリズムが含まれる、
食べ頃算出方法。
- [請求項12] 果物の食べ頃としての適正期間を算出する食べ頃算出システムであって、
果物の属性に対応付けて用意された食べ頃算出アルゴリズムが格納されたアルゴリズム格納部と、

前記食べ頃算出アルゴリズムによって前記適正期間を算出する適正期間算出部と、

前記適正期間を評価するために外部から取得された評価情報が特定条件を満たすか否かを判定する判定部と、

前記判定部によって前記評価情報が前記特定条件を満たすと判定された場合に前記食べ頃算出アルゴリズムを修正するアルゴリズム修正部と、

とを備える、

食べ頃算出システム。

[請求項13]

請求項12に記載の食べ頃算出システムであって、

取得した属性に類似する属性に対応付けされた食べ頃算出アルゴリズムを前記アルゴリズム格納部から抽出するアルゴリズム選択部を更に備え、

前記適正期間算出部は、前記抽出された食べ頃算出アルゴリズムを適用して前記適正期間を算出する、

食べ頃算出システム。

[請求項14]

コンピュータを、

果物の属性に対応付けて用意された食べ頃算出アルゴリズムによって、前記果物の食べ頃としての適正期間を算出し、

前記適正期間を評価するための評価情報を取得し、

前記評価情報が特定条件を満たす場合に前記食べ頃算出アルゴリズムを修正し、

前記修正された食べ頃算出アルゴリズムを用いて新たな適正期間を算出するように機能させる食べ頃算出プログラム。

[請求項15]

コンピュータを、

果物の属性に対応付けて用意された食べ頃算出アルゴリズムによって、前記果物の食べ頃としての適正期間を算出し、

前記適正期間を評価するための評価情報を取得し、

前記評価情報が特定条件を満たす場合に前記食べ頃算出アルゴリズムを修正し、

前記修正された食べ頃算出アルゴリズムを用いて新たな適正期間を算出するように機能させるプログラムが記憶された、コンピュータにより読み取り可能な記録媒体。